

2004 年度 経済原論 : 期末試験

2004 年 7 月 21 日 (水)

< 注意 >

以下の 4 問すべてについて解答すること。配点は各問 25 点で、合計 100 点。

< 問題 >

[第1問] 高橋君と清原君は、渡辺さんが経営するハンバーガー店でアルバイトをしている。仕事はハンバーガーをつくることと、ポテトを揚げることである。2 人は 30 分の間に次表の通りの作業をこなすことができる。高橋君と清原君が 1 日に働ける時間は 3 時間が限界であるものとし、以下の問いに答えなさい。

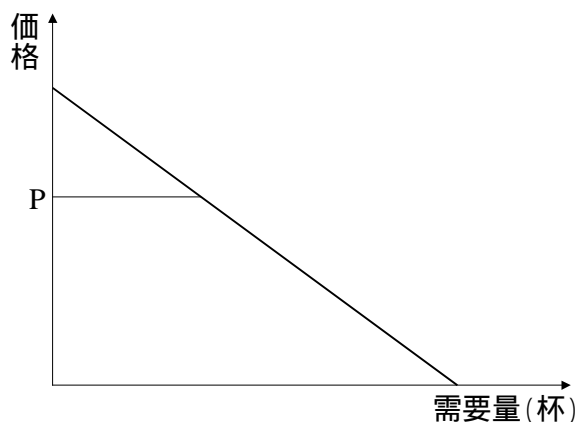
	ハンバーガーのみを作る場合	ポテトのみを作る場合
高橋君	10 個	5 セット
清原君	6 個	2 セット

経営者にとって、高橋君と清原君の仕事をどのように割り振るのが得策か。根拠も述べること。(5 点)

清原君に代わって、30 分でハンバーガーなら 5 個、ポテトなら 5 セット作れる小久保君が働き始めた。仕事の割り振りを変更すべきか。また、どのように変えるか。根拠も述べること。(10 点)

経営者である渡辺さんが自らハンバーガーやポテトを作らないのは何故か。やと同様の考え方に基づいて説明しなさい。(10 点)

[第2問] 王さんの経営するラーメン店は、下図のような右下がりの需要曲線に直面しており、現在のラーメン 1 杯あたりの価格は P である。このとき、以下の問いに答えなさい。



王さんの経営するラーメン店の収入はどのように表せるか。図示して説明しなさい。(5 点)

王さんは価格を下げるかどうかで迷っている。価格を下げない方がよいのは、どのようなケースか。図示して説明しなさい。(10 点)

隣にラーメン・チェーン店が新規開店した。王さんの経営するラーメン店には、どのような影響があると考えられるか。図示して説明しなさい。(10 点)

[第3問] 10,000 円でアイスコーヒーと麦茶を買ってくるように頼まれた。アイスコーヒーが 1 リットル 250 円、麦茶が 1 リットル 200 円の時、以下の問いに答えなさい。

アイスコーヒーの購入量を x 、麦茶の購入量を y として、予算制約式を書きなさい。また、予算制約線を図示しなさい(縦軸・横軸との交点を明示すること)。(10 点)

以下のような ~ の組み合わせの (x, y) は購入可能か。(各 1 点、計 5 点)

$(40, 5)$ $(30, 10)$ $(16, 30)$ $(10, 40)$ $(0, 50)$

アイスコーヒーの値段が 1 リットル 400 円に上がると、予算制約式はどのように変わるか。また、図示するとどうなるか(縦軸・横軸との交点を明示すること)。(10 点)

[第4問] 以下の設問に答えなさい。

経済学の分析対象とは何か。もっとも適切と思われる一語を書きなさい。(5 点)

経済学において「資源制約」や「資源の希少性」という概念はきわめて重要な役割を果たす。この点について、の解答と関連付けて簡潔に説明しなさい。(10 点)

以上の点を踏まえた上で「価格メカニズム」の優越性について説明しなさい。(10 点)